VVI Newsletter ＝2023 Spring Issue

皆さんこんにちは。桜の開花や、かたくりの満開、などなどなにもかもが’例年に比べて

早い！と言われている今年の春。皆さんの体は、いつもどおりに、春とともに温まっていますでしょうか？

このような季節の変化に合わせて、今回は、春号というよりは「初夏号」となりました。

　今回は、１月に開かれたEnglish Conversation Gathering のご報告、東京大学を総代として卒業された菅田利佳さんの近況報告、その他CWAJからのお知らせ、をお届けします。お楽しみいただければうれしいです。

＜もくじ＞

１．ECG開催報告―チュニジアの文化紹介　　　　洋子・モスコウィツ、ECG コーディネーター

　　オンラインの“ECG”に参加して　　　　　　　　　オンラインで参加されたみなさん

２．CWAJ奨学生からの近況報告　　　　　　　　　　菅田　利佳（すがた りか）さん

３，CWAJからのお知らせ

　　＊第６６回CWAJ現代版画展　　　　　　　　　　ジェンマ・藤谷（ふじたに）、実行委員会幹事

　　＊CWAJ奨学金制度について　　　　　　　　　　田中紀子（たなか のりこ）、奨学金制度委員会幹事

４．編集後記

＜ここから記事が始まります＞

１．ECG開催報告　　（2023年1月21日　オンライン開催）

　**『Imen（イメン）さん、チュニジアについて語る』**

**洋子・モスコウィツ、　　オンラインECＧコーディネーター**

ここ２、３年、コロナ下に対面での集まりが難しいこともあり、皆様と繋がる手段としてオンラインのECGを開催してまいりました。年明け間もなく、2023年１月21日（土曜日）に、久しぶりにオンラインECGを開催しました。今回は、チュニジア出身のImen Jebriさんをお招きして、チュニジアについて、風土、料理やスポーツなどについてお話を伺いました。Imenさんは最近、CWAJの会員になったばかりです。VIフレンドを含め29名が参加し、興味深くImenさんのお話を聞いていました。

チュニジアは北アフリカに位置していて、人口の約９８％はイスラム教徒だそうです。その中にあってジェルバと呼ばれる島には、ユダヤ人のコミュニティがあり、人口の半分ほどがユダヤ人で構成されているとのこと。サハラ砂漠は誰しも聞いたことがあると思いますが、世界最大級の広大なサハラ砂漠はチュニジアにもまたがっています。Imenさんの説明で、サハラという名称そのものがアラビア語で「砂漠」を意味することを知りました。初めて知ったという人が大部分でした。また、イスラムの世界の中では、珍しく一夫一婦制だそうで、その陰でその地位を勝ち取ったチュニジアの女性たちはパワーフルでインデペンデントなと思った参加者も多かったのではないでしょうか。

スポーツ選手の話題ではちょっと盛り上がりました。チュニジアはサッカーのワールドカップではまだまだ上位には入れませんが、注目を浴びている選手が何人もいるとのことでした。また、女性選手では、オンス・ジャバーというテニスプレイヤーが有名で、いろんな大会で優勝しているそうです。私も興味があって調べてみましたが、2019年にはアラブ・ウーマン・オブ・ザ・イヤーのスポーツ部門を受賞しています。東京オリンピック2020の水泳400メートル男子では、チュニジアの選手が優勝しています。他にもバスケットボール、バレーなどで活躍する選手の話もでました。Imenさんがチュニジア人のスポーツ選手について語るときは、とても嬉しそうだったのが印象的でした。私たちが、アメリカンリーグで活躍する大谷翔平選手の活躍に一喜一憂するのと似ていますね。

チュニジア料理についても教えていただきました。いろんなスパイスを使う「クスクス」という料理が主な料理です。東京にあるチュニジアレストランを教えていただきましたので、ここにご紹介いたします。

①ラ・メゾン・ドゥ・クスクス　<https://www.cous-cous.tokyo/about>

②ブラッスリージェルバ　<https://r.gnavi.co.jp/fkfxkeed0000/>

私は、早速、オンラインECGの翌日、Imenさんお勧めのブラッスリージェルバに行ってきました。ラムクスクスをオーダーしましたが、とてもおいしかったです。チュニジア料理にご興味のある方は、試してみてはどうでしょうか。

Imenさんのお話の後、３つのブレークルームに分かれ、それぞれのブレークルームにImenさんも参加して会話を続けました。ブレークルームでの会話を30分で２回と長くとったつもりでしたが、テクニカルエラーもあって時間はあっという間に過ぎてしまいました。時間切れで質問できなかった方もいらっしゃったようですが、おおむね楽しい１時間半を過ごすことができたと思います。

チュニジアと聞くと、どこか遠い国というイメージでしたが、Imenさんのお話をうかがって少しだけ身近な存在になったような気がいたします。参加者も同じ思いを抱かれたことと思います。

次回のECGは、対面を計画していますが、遠方の方も参加できるように引き続きオンラインECGも開催する予定です。CWAJの会員には、いろんな国の出身者が多くいますので、今度は違う国出身のメンバーをお呼びしようと思っております。外国の話題で会話が弾めば幸いです。最後に、ZOOMに慣れてきたとはいえ、テクニカルな面で不手際があり、皆様にご迷惑をかけてしまったことをお詫びします。今後改良していきたいと思っております。　　　　　　　　（以上）

**２．CWAJ奨学生からの近況報告　　　　　　　　　　　　　菅田 利佳（すがた りか）**

皆様こんにちは。2021年度CWAJ奨学生としてご支援をいただきました、菅田利佳（すがた りか）です。この春、東京大学教育学部を卒業し、社会人としての新たなスタートを切りました。大きな節目を迎えた今、皆様への近況報告のチャンスをいただき、とても嬉しく思っております。

私は、幼い頃から点字を使用して学び、高校から通常の学校へ進学した経験から、教育の素晴らしさを感じるようになりました。また、ピアノ演奏を通じて国内外の人々と心を通わせた体験から、文化・芸術の持つ力に強い関心を抱きました。「自身の視点を活かし、誰もが充分にそれぞれの可能性を伸ばすことのできる社会の実現に貢献したい」という志を持って、研究・演奏活動に励んで参りました。

在学中、特に注力したのは、近年、新興国に展開されるようになった日本型音楽教育についての研究です。その成果をまとめた卒業論文では、日本型音楽教育の特徴を音楽表現の分野ごとに分析し、国際教育協力の中で音楽を用いることの意義と課題を示しました。この研究は、私自身が幼い頃から感じてきた「音楽の力」を、学術的に掘り下げる作業でもあり、とても充実した時間だったと感じております。

また、研究成果や自身の生い立ちを広く共有することも大切だと考え、国内外での講演・演奏活動、メディアでの発信を続けてまいりました。さらに、文化・芸術を通して若者と国連を結ぶ「東京大学UNiTe」で代表を務め、コロナ禍において特に苦しい立場にある若者や芸術界の人々の声を国連機関に届ける会議の企画など、多くのプロジェクトに携わりました。

さて、私はこれまで、数え切れないほどの支援者の方々に恵まれ、思う存分に学ぶことができる、本当に幸せな時間を過ごしてきました。だからこそ、大学入学以前は、サポートを受ける存在として自らを定義していたように思います。しかし、学生団体でリーダーシップを取った日々を通して、私たちにはもっと多様な側面があり、それぞれの特技を活かせば、誰もが仲間に寄り添う協力者になり得るということを学びました。支えてくださる沢山の方々への感謝を胸に、今後も、大学で見つけた、「協力者としての新たな可能性」を探究し続けます。

最後に嬉しい報告です。卒業研究と、学生団体での活動、ピアノ演奏や講演を通じた発信などを評価していただき、この度、東京大学総長大賞を受賞いたしました。また、卒業式では、総代として答辞を読む機会にも恵まれ、願ってもない最高の門出を迎えられたことが、本当に幸せです。

現在私は、外資系の金融機関で、ビジネスの最前線に触れる刺激的な毎日を送っております。これからも、教育と音楽を通して得た私の志を大切に育てながら、グローバルなビジネスがより良い社会の実現に果たせる役割を、自分なりの視点で探究していく所存です。また、1人の演奏家、研究者としても成長し続けられるよう、今後も努力を積み重ねてまいります。改めて、様々な場所から私を応援してくださる皆様に、心から感謝を申し上げます。　　　　　　　　　　　（以上）

**３．CWAJからのお知らせ**

＊　**第66回CWAJ現代版画展について**

第66回CWAJ版画展幹事　ジェンマ・藤谷（ふじたに）

CWAJ版画展は、現代版画を紹介し販売する権威ある版画展として、毎年開かれています。

今年は10月18日（水曜日）から22日（日曜日）まで、

　　午前11時から午後6時まで（日曜日は5時まで）

　　東京・渋谷区代官山の、ヒルサイド・フォーラムで開かれます。

皆さん是非おでかけください。会場では、選ばれた数点を立体化した版画に手で触れて、ボラン

ティアの説明を聞きながら鑑賞する**ハンズ・オン・アート**に参加し、また版画展全体を見ていただくことができます。

10月に、CWAJ版画展でお会いしましょう❤

ここからは、ジェンマからのご案内のオリジナル英文です。

66th CWAJ Print Show

The 66th CWAJ Print Show is a highly respected annual exhibition and sale of contemporary Japanese prints. It will be held on October 18 (Wed.) – 22 (Sun.) from 11 am – 6pm (Sunday 5pm) at Hillside Forum, Daikanyama, Tokyo.

We would like to invite you to visit to the show. You can enjoy the show through Hands-on-Art program. While touching tactile prints of a few selected artworks, a volunteer guide will give you explanation about the prints and then go around the show.

We look forward to seeing you at the 66th CWAJ Print Show!

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 Gemma Fujitani, Co-chair, 66th CWAJ Print Show

**＊CWAJ奨学金について**CWAJ奨学金制度幹事　田中 紀子(たなか のりこ)

CWAJ視覚障害学生奨学金は1978年に設立された、日本で最初の、視覚障害者を対象とした　　　給付型奨学金です。日本国籍あるいは日本国特別永住権を持つ視覚障害のある学生を対象にしており、性別、年齢、専攻分野は問いません。

2023年度はお二人の素晴らしい奨学生を迎えることができました。2024年度奨学生の募集については、7月以降にCWAJのウェブサイトに掲載いたします。ご興味のある方は是非ご覧になってください。(2023年度の奨学生については次号にてお知らせする予定です)

**＊編集を終えて**

　　Newsletter Spring Issueをお読みいただきありがとうございます。

今年は春のおとずれが早く、日本最北端の稚内（わっかない）では、例年より10日も早く

５月初めに桜が開花したそうです。花たちに背中を押されて、季節の催しやお菓子に想いが

及びます。かしわもちは欠かせませんし、学校では春の運動会でしょうか。

大型連休を終えて、木々の緑も濃くなっていきますが、このさわやかな季節を、どうぞ

　充分にお楽しみください。そして、今年も暑い夏になるそうですので、どうぞ熱中症には

充分お気をつけて、元気にまた９月にお会いしましょう。

Autumn Issueでは、2023年度の視覚障害奨学生のご紹介や、今年のCWAJ現代版画展で

催されるHands-on Artのご案内も予定しています。お楽しみに。

　編集担当　石井ふみ子